

天守閣の活用及び耐震改修事例 ー松江城天守閣ー

1. 活用事例

i) 活用の経緯

明治2年(1869)	陸軍省の所管となる。
明治8年(1875)	天守以外の建物が撤去される。天守閣は元藩士や地元有力者が落札額と同額で買い戻し、現地で保存される。
明治22年(1889)	「松江城天守閣景観維持会」が設立される。
明治25年(1892)	「千鳥城 ¹ 天守閣修繕計画」が公表される。
明治27年(1894)	寄付金により天守閣の大修理が実施される。
昭和2年(1927)	松江城跡一円が松平氏より松江市に寄贈される。
昭和3年(1928)	松江城跡が城山公園と命名される。
昭和4年(1929)	「松江市城山公園改造計画」が作成される。
昭和9年(1934)	松江城跡が国の史跡に指定される。
昭和10年(1935)	天守閣が国宝保存法に基づき国宝に指定される。
昭和25年(1950)	天守閣が文化財保護法施行に伴い重要文化財に移行される。
昭和30年(1955)	昭和25～30年(1950～1955)の保存修理事業後(※)、松江城天守閣の公開が開始される。
平成17年(2005)	天守閣及び松江市城山公園の管理に指定管理者制度を導入する。
平成23年(2011) ～平成25年(2013)	松江城保存活用計画策定のための調査検討が実施される。
平成26年(2014)	『重要文化財 松江城天守保存活用計画』が策定される。
平成27年(2015)	天守閣が国宝に指定される。

※保存修理事業(昭和25～30年)については、p.5に記載。

¹ 千鳥城：松江城の別名。

ii) 天守閣の構造と展示内容

天守閣は4重5階、地下1階付の構造で、実物資料及び現存天守閣ならではの建物の構造を見せる展示を行っている。

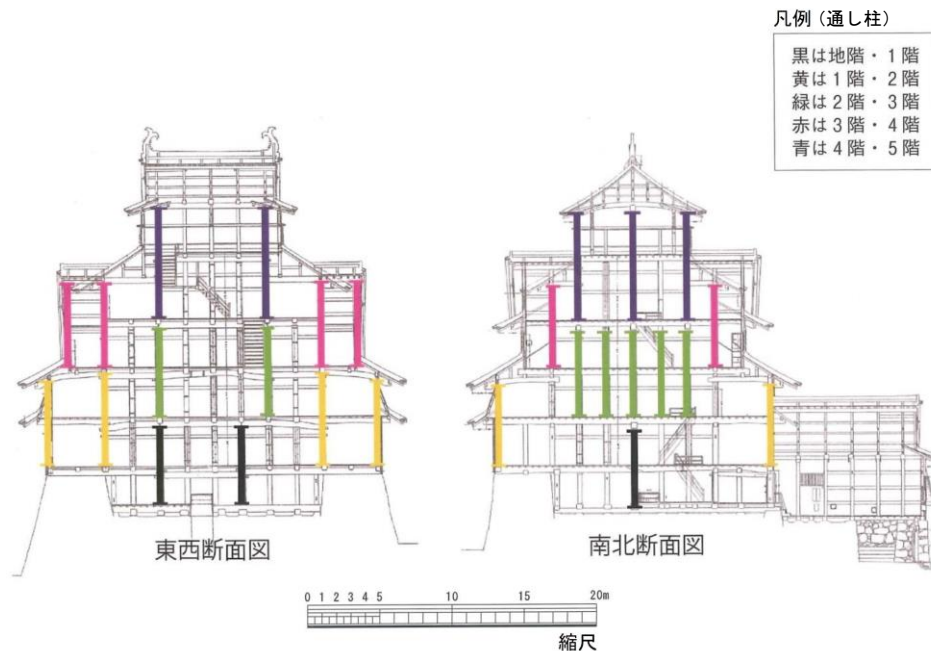


図 断面模式図（『重要文化財 松江城天守保存活用計画』より）



実物資料の展示（国宝松江城 HP より）



建物の構造を見せる展示（国宝松江城 HP より）

iii) 松江城関連施設の活用方法

城郭内施設	機能等活用方法
天守閣	建物自体の解説、松江城に関する実物資料の展示 【入場時間】 4月1日～9月30日：午前8時30分～午後6時30分 10月1日～3月31日：午前8時30分～午後5時 【入場料】 (個人) 大人 680 円、小中学生 290 円 外国の方 大人 470 円、小人 200 円 (団体 30 名以上) 大人 540 円、小中学生 230 円
武家屋敷 ※塩見縄手（城下町通り）に所在	松江藩士の生活空間を再現した展示 【開館時間】 4月1日～9月30日：午前8時30分～午後6時30分 10月1日～3月31日：午前8時30分～午後5時 【入館料】 (個人) 大人 310 円、小中学生 150 円 外国の方 大人 210 円、小人 100 円 (団体 20 名以上) 大人 240 円、小人 120 円
松江歴史館	城下町文化に焦点をあてた展示 【開館時間】 午前9時～午後5時 【観覧料（基本展示）】 (個人) 大人 510 円、小中学生 250 円 (団体 20 名以上) 大人 410 円、小中学生 200 円
その他…ぶらっと松江観光案内所、千鳥茶屋	

※【その他入館料】

- ・2館共通券（松江城天守閣・松江歴史館基本展示）：大人 950 円、小中学生 430 円
- ・3館共通券（松江城天守閣・小泉八雲記念館・武家屋敷）
：大人 1,100 円、小中学生 510 円
- ・その他、公共交通機関の乗車券等の提示で割引

武家屋敷展示（松江市指定文化財 武家屋敷 HP より）



松江歴史館展示（松江歴史館 HP より）



案内マップ（国宝松江城 HP より引用）



天守閣内展示（国宝松江城 HP より）

iv) 松江城山公園でのイベント

イベント名	時期	内容
天守から望む初日の出 	1月1日	元日の初日の出を天守閣最上階から観覧できる。 ※先着順 有料 大人 680 円、小・中学生 290 円
椿まつり	3月中旬	松江市の花「椿」の開花時期にあわせ、古里の名椿・全国の珍しい椿など 80 種 100 鉢以上の展示と育て方相談コーナー、椿マップの配布などが行われる。
椿谷探訪	3月中旬	日本三大やぶつばき群に指定されている松江城山公園の椿をガイドの案内で散策する。 ※定員有り
お城まつり	3月下旬 ～4月中旬	桜の開花にあわせて開催され、天守、桜、ぼんぼりで夜桜のライトアップが行われる。武者行列、安来節コンクール、ステージイベント、本丸花見茶屋・桜餅実演販売なども行われる。 ※期間中、本丸は 21 時まで開放
秋の名月鑑賞会 	9月	天守閣最上階から、松江月の会会員による語りとともに、秋の名月を鑑賞できる。
松江水燈路	10月	1 か月間、土・日・祝日をメインとして、松江城を中心に手作り行灯など 1000 個以上の行灯で城下町松江を水と光の演出が行われる。 ※メイン開催日は天守登閣 9 時まで
松江城大茶会	10月	第 6 代藩主松平不昧公が興した松江の茶の湯の振興を願って催される茶会。
天守すすはらい 	12月	松江城を竹で作ったすす梵天で払い清め、一の門に門松を立て新年を迎える準備をする。 ※一般協力者の受付有り

(写真は国宝松江城 HP より引用)

v) 管理・運営体制

◇産業観光部観光施設課、NPO 法人松江ツーリズム研究会（指定管理者制度）

- ・ 日常管理全般
- ・ 来訪者対応等

◇教育委員会文化財課文化財係

- ・ 文化財保護関連

◇教育委員会文化財課資料編纂室

- ・ 城郭の研究

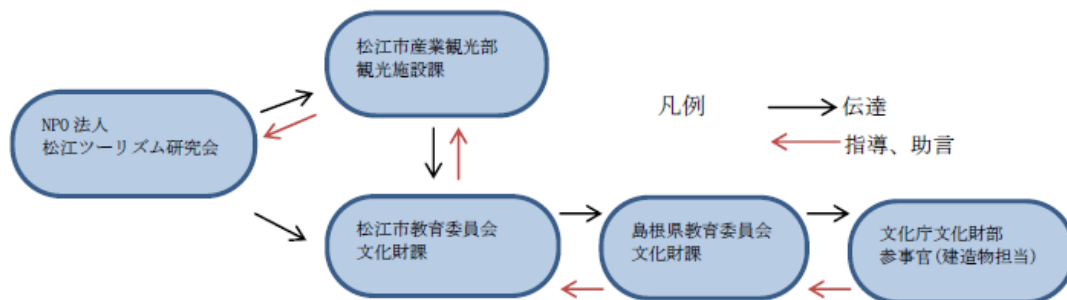


図 管理上の連絡体制（平成 26 年 3 月時点）（『重要文化財 松江城天守保存活用計画』より）

2. 耐震改修事例

i) 保存修理及び耐震改修の経緯

昭和 25 年（1950）から昭和 30 年（1955）の保存修理事業以降は、防災装置の設置や、定期的な屋根などの部分修理が行われていた。その後、平成 23 年（2011）から平成 25 年（2013）に行われた耐震診断事業の結果、天守閣 5 階及び 3 階の耐震性能不足と、附櫓の大梁が脱落した場合の危険性が指摘された。このことから、平成 30 年（2018）から令和元年（2019）に国宝松江城天守耐震補強工事が実施された。また、天守台石垣の耐震対策の一環として、令和 2 年（2020）から令和 3 年（2021）に国宝松江城天守附櫓内部石垣安全対策工事が実施された。

昭和 25 年（1950）	保存修理事業として根本修理 ² が開始される。
昭和 30 年（1955）	保存修理事業が竣工し、『重要文化財松江城天守閣修理工事報告書』が刊行される。
平成 5 年（1993）	史跡松江城環境整備指針が策定される。
平成 23 年（2011） ～平成 25 年（2013）	重要文化財（建造物）耐震診断指針に基づく耐震基礎診断が実施される。
平成 29 年（2017）	国宝松江城天守耐震補強工事基本計画策定委員会が設置される。
平成 30 年（2018）	『国宝松江城天守 耐震補強工事基本計画』が策定される。 実施設計が行われる。 耐震補強工事（現地実測、部材制作など）が実施される。
令和元年（2019）	耐震補強工事（部材取付）が実施される。 国宝松江城天守耐震対策検討委員会が設置される。
令和 2 年（2020）	『国宝松江城天守附櫓内部石垣安全対策工事基本計画』が策定される。 国宝松江城天守附櫓内部石垣安全対策工事が開始される。
令和 3 年（2021）	国宝松江城天守附櫓内部石垣安全対策工事が竣工する。

² 根本修理：建物全体に破損が及んでいる場合に、建物を一旦解体して破損部材の補修や必要最低限度の取り替えを行い、元の部材を、元の位置に、同じ工法で再び組み立てる修理。

ii) 耐震改修方法

■耐震補強工事

天守閣5階及び3階の耐震性能を向上させるため、鉄骨フレームと木格子壁の設置及び小屋裏への鋼製の筋交い（鋼製ブレース）の取り付けが行われた。その他、附櫓の大梁を支持する添柱の設置が行われた。

耐震方法	選択理由	景観配慮	施工イメージ
鉄骨フレーム	回遊性、眺望性の維持	木製カバーの取り付け	
木格子壁	部材での持ち込み、現場での組み立てが可能	-	
筋交い (鋼製ブレース)	-	周囲の部材と調和する色付け	

(写真は『国宝松江城天守 耐震補強工事基本計画』より引用)

また、併せて天守台石垣の耐震性能評価及び耐震対策についての検討も行われた。性能評価に必要なデータとしては、定期的な変位測量（3D レーザー測量、光波測量、デジタルゲージによる簡易測量）が検討された。

- ・3D レーザー測量：年1回の測量で、石垣の孕みを含む全体像を視覚的に把握
- ・光波測量：測量点を各面4点設定し、石垣の変位を年4回程度の頻度で観測
- ・デジタルゲージによる簡易測量：週1回の測量で、変異発生期間と変位要因を特定

■附櫓内部石垣安全対策工事

内部石垣の滑り出しを防止するため、補強架構の取り付けが行われた。補強架構は石垣を可能な限り露出させるために、金網などの面材は設置せず、貫構造を用いた格子状の架構が採用されている。



貫構造

(『国宝松江城天守附櫓部石垣安全対策工事基本計画』より)



補強架構（松江市 HP より）

【参考文献】

- ・松江市，2014/3，『重要文化財 松江城天守保存活用計画』
- ・松江市，2018/3，『国宝松江城天守 耐震補強工事基本計画』
- ・松江市，2020/3，『国宝松江城天守附櫓部石垣安全対策工事基本計画』
- ・文化庁，1993，『日本/古都京都の文化財』，
<https://bunka.nii.ac.jp/suisensyo/kyoto/index-j.html>
- ・松江市 HP，<https://www.city.matsue.shimane.jp/index.html>，最終閲覧 2022/1/11
- ・国宝松江城 HP，<https://www.matsue-castle.jp/>，最終閲覧 2022/1/11
- ・松江市指定文化財 武家屋敷 HP，<https://www.matsue-bukeyashiki.jp/>，最終閲覧 2022/1/7
- ・松江市立松江歴史館 HP，<https://matsu-reki.jp/>，最終閲覧 2022/1/7